

令和5年度「いしかわ耕稼塾」研修生募集について

1 趣 旨

いしかわ農業総合支援機構では、石川県での就農を希望する者を対象として、就農に必要な技術や知識を習得する予科・本科・専科の令和5年度の研修生を10月11日(火)から募集します。

2 募集対象・人員

県内で就農を希望する方で、入塾時(令和5年4月1日時点)59歳未満の方(予科は64歳未満)

募集区分	対 象 者	募集人員
予 科	就農に必要な基礎的な技術や知識を学びたい者	40人程度
本 科		16人程度
専 科	自立経営による就農を目指す者 (就農に必要な基礎的な知識・技術を習得している者)	8人程度

3 研修の概要

- (1)研修期間 令和5年4月～令和6年3月(専科は、令和7年3月まで可能)
 (2)研修場所 石川県農林総合研究センター河北潟試験地内(河北郡津幡町字湖東395)
 「いしかわ耕稼塾研修ほ場」及び「河北潟農業研修館」ほか
 (3)研修内容

【予科】

日 程	毎週水曜日か土曜日のいずれか(どちらも9:00～15:00頃)、約40日/年
部 門	野 菜
内 容	実習:共同作業による研修用ほ場(ハウス、露地)での栽培実習等 講義:実習作物についての栽培方法及び就農に必要な基礎知識の講義

【本科】

日 程	月～金曜日(8:30～17:15)、約240日/年
部 門	野菜・花き・果樹・水稲・畜産のいずれかを選択
内 容	実習:共同作業による研修用ほ場(ハウス、露地)での栽培実習等 講義:作物栽培、土壌肥料、農業簿記等、農業経営に必要な基礎知識の講義

【専科】

日 程	毎 日(但し、自己の経営判断による)
部 門	野 菜
内 容	実習(模擬経営):(1)ハウス1棟(6m×40m)及び露地(20a)における栽培実習 (2)直売所等での販売実習

4 費用負担(受講料は無料)

- [予科] テキスト等は自己負担(5,000円程度)
 [本科] テキスト、トラクター研修費用等は自己負担(30,000円程度)
 [専科] 10,000円/月、小農具、資材等は自己負担

5 申込手続

- (1)申込書類:①入塾申込書(写真を添付したもの)
 ②作文(題:「私が目指す農業経営」800字程度)(予科、本科のみ)
 ③研修計画(専科生のみ)
 (2)申込期間:令和4年10月11日(火)から11月30日(水)17時15分まで(必着)
 (3)申込方法:郵送または下記までお持ち下さい。
 (4)申 込 先:〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館4F
 (公財)いしかわ農業総合支援機構(いしかわ耕稼塾 担当:小澤、金川、渡邊)
 TEL:076-225-7621、FAX:076-225-7622、HP:https://inz.or.jp/、E-mail:info@inz.or.jp

6 研修生の決定

入塾申込書及び作文による書類審査と面接審査により、令和4年12月下旬に研修生を決定します。

令和5年度「いしかわ」予科・本科・専科 研修生募集要項

1 趣 旨

「いしかわ耕稼塾」では、農業の担い手不足解消を目指し、県内での就農を希望する方を対象に、就農に必要な技術や知識を習得する予科・本科・専科の研修生を募集します。

2 募集区分・目的

区 分	目 的
予 科	週一回、就農に必要な基礎的な技術や知識を習得します
本 科	月曜から金曜まで、自立経営に必要な基礎的な技術や知識を本格的に習得します
専 科	研修用ほ場（ハウス、露地）で模擬経営を行い、自立経営に必要な技術を習得します

3 募集対象・人員

区 分	対 象 者	募集人員
予 科	就農に必要な基礎的な技術や知識を学びたい者 県内で就農を希望する方で入塾時（令和5年4月1日時点）に 64歳未満まで	40名程度
本 科	就農に必要な基礎的な技術や知識を学びたい者 県内で就農を希望する方で入塾時（令和5年4月1日時点）に 59歳未満の方	16名程度
専 科	自立経営による就農を目指す者（就農に必要な基礎的な知識・ 技術を習得している者） 県内で就農を希望する方で入塾時（令和5年4月1日時点）に 59歳未満の方	8名程度

4 研修の概要

【予 科】

研修期間	令和5年4月～令和6年3月
研 修 日	毎週水曜日から土曜日のいずれか（それぞれ9:00～15:00頃） 約40回
研修部門	野 菜
研修内容	実 習：(1)共同作業による研修用ほ場（ハウス、露地）における栽培実習 (2)個別作業による研修用ほ場（露地）での栽培実習 講 義：実習作物についての栽培方法及び就農に必要な基礎知識の講義 その他：流通・販売に関する講義や就農希望者を対象としたフォローアップ研修
研修場所	石川県農林総合研究センター河北潟試験地内「いしかわ耕稼塾研修ほ場」及び 「河北潟農業研修館」（河北郡津幡町字湖東）
費用負担	無料 但し、テキスト等は自己負担（5,000円程度） 作業に必要なハサミや長靴、カッパ等は各自で用意 研修中の傷害保険は、耕稼塾事務局が一括で加入

【本 科】

研修期間	令和5年4月～令和6年3月
研 修 日	月～金曜日（8:30～17:15） 約240日間 ※収穫時期などは早朝開始となる場合もあります。 ※土、日、祝日は必要に応じて当番制となります。
研修部門	野菜・花き・果樹・水稻・畜産
研修内容	実 習：(1)石川県農林総合研究センター河北潟試験地内「いしかわ耕稼塾研修 ほ場」での共同作業による栽培技術等の実習（野菜） (2)石川県農林総合研究センター・畜産試験場等での栽培（飼養）技術 等の実習（花き・果樹・水稻・畜産） (3)農家派遣研修 (4)農業機械研修

	講義：作物栽培、土壌肥料、営農計画作成、農業簿記等の農業経営に必要な基礎知識の講義 その他：先進農家視察、流通・販売に関する講義
研修場所	実習：石川県農林総合研究センター（金沢市才田町） 水稻・果樹 " いしかわ耕稼塾研修ほ場（河北郡津幡町字湖東） 野菜・花き " 砂丘地農業研究センター（かほく市内日角） 果樹（ぶどう） " 畜産試験場（羽咋郡宝達志水町坪山） 畜産 講義：石川県農林総合研究センター（金沢市才田町）
費用負担	無料 但し、テキスト、トラクター研修費用等は自己負担（30,000円程度） 作業に必要なハサミや長靴、カッパ等は各自で用意 研修中の傷害保険は、耕稼塾事務局が一括で加入

※ 本科研修生は【就農準備資金（令和4年度事業名）】の給付対象となることができます。
なお、令和5年度事業は変更になることもありますので、御留意願います。

【専科】

研修期間	令和5年4月～令和6年3月 （希望者は、最大 令和7年3月まで）
研修日	毎日（ただし、自己の経営判断による）
研修部門	野菜
研修内容	実習：(1)ハウス1棟（6m×40m）及び露地（20a）における栽培実習 (2)直売所等での販売実習 講義：経営計画の作成 その他：流通・販売に関する講義（希望者のみ）
研修場所	石川県農林総合研究センター河北潟試験地内「いしかわ耕稼塾研修ほ場」及び 「河北潟農業研修館」（河北郡津幡町字湖東）
費用負担	10,000円/月の負担金（農業機械のリース料等相当分） 小農具（鍬など）、種苗、肥料、資材等は自己負担 研修中の傷害保険は、耕稼塾事務局が一括で加入

※ 専科研修生は【就農準備資金（令和4年度事業名）】の給付対象となることができます。
なお、令和5年度事業は変更になることもありますので、御留意願います。

※ 専科研修生は、本科の講義が受講できます。

5 申込手続

- (1) 申込書類：①入塾申込書（写真を添付したもの）（予科、本科、専科希望者）
②作文（題：「私が目指す農業経営」800字以内）（予科、本科希望者のみ）
③就農計画、作付計画、売上計画（専科希望者のみ）

(2) 申込期限：令和4年11月30日（水）17時15分まで（必着）

(3) 申込方法：下記まで郵送またはお持ち下さい。

(4) 申込先：（公財）いしかわ農業総合支援機構（いしかわ耕稼塾 担当：小澤、金川、渡邊）
〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館4F

※ 申込書に記載された個人情報、いしかわ耕稼塾研修生の選考以外に使用しません。なお、ご提供いただいた入塾申込書は返却いたしませんので御了承下さい。

6 研修生の決定

第一次審査：入塾申込書及び作文による書類審査を行い、その結果を令和4年12月上旬に郵送で通知します。

第二次審査：令和4年12月中旬に面接を実施し研修生を決定します。
審査結果は、郵送で通知します。

7 お問い合わせ先

ご不明な点などは、（公財）いしかわ農業総合支援機構へお問い合わせ下さい。

〒920-8203 金沢市鞍月2丁目20番地 石川県地場産業振興センター新館4F

（公財）いしかわ農業総合支援機構（いしかわ耕稼塾 担当：小澤、金川、渡邊、岡部）

TEL:076-225-7621 FAX:076-225-7622

HP: <https://www.inz.or.jp/> E-mail: info@inz.or.jp

入塾申込書

令和 年 月 日

いしかわ耕稼塾 塾長 様

「いしかわ耕稼塾」に入塾したいので、下記のとおり申し込みます。

コース	予科〈野菜〉 水曜日・土曜日・どちらでも (いずれか選択)
	本科 野菜・花き・果樹・水稲・畜産 (いずれか選択)
	専科〈野菜〉

(複数希望可。複数希望の場合は希望順位を記入)

住所	(〒 -)	連絡先 (電話番号)	写 真 添 付
ふりがな	男・女	携 帯 電話番号	
氏 名			
生年月日	S・H 年 月 日 生 (R 5 . 4 . 1 現在 歳)	E-mailアドレス	

	期 間	履 歴			
最終学歴	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
職 歴	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
農業経験 (研修・学校 教育を含む)	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
	S・H・R 年 月～S・H・R 年 月				
資 格					
家 族 状 況	本人との続柄	氏 名	年齢	職 業	農業従事者
実家の営農状況	専業農家・兼業農家・非農家(新規参入) (いずれか選択)				

「本人との続柄」は配偶者、子、父母、兄弟姉妹、祖父母の順に該当する方を記入

「農業従事者」は該当する場合○印を記入

※ 入塾申込書の記載内容については、研修終了後の就農状況を把握するため県庁及び県庁出先機関と情報を共有化する場合がありますのでご了承願います。

裏面へ

次の質問にお答え下さい（※面接時の参考としますので、具体的にご記入下さい）。

1 入塾希望理由

2 これまでの農作業の経験

3 研修受講や就農に対する家族の意見

4 研修修了後、目指す就農の姿（自営・法人就農、希望する就農地・栽培品目等について）

5 研修修了後、自立経営を目指す場合、農地の確保、農業機械・施設や住居の取得、労働力の確保など多くのクリアすべき課題があります。これらについて、どのように対処しようと考えていますか。

①就農後経営安定（3～5年間）までの生活資金の取得方法

- ア)家族の収入に頼る イ)貯金がある（ 万円）
ウ)農業関係のアルバイト等で得る エ)農業以外のアルバイト等で得る
オ)その他（ ）

②農地、農業機械・施設を取得する自己資金

- ア) 無い イ)100万円以内 ウ)100～200万円 エ)200～500万円 オ)500～1,000万円
カ)1,000万円以上

③ 農地確保の見込み（1反=300坪=約10a =約1,000㎡）

- ア)自作地を所有（田 a、畑 a） イ)親や親戚から借りる
ウ)知人・友人から借りる エ)自分で農地を探す オ)あては無い
カ)その他（ ）

④労働力の確保とその内容

- ア)家族（親、配偶者） イ)親戚等 ウ)自分ひとりでやる
エ)その他（ ）

⑤住宅確保の必要性（現住所以外で就農希望の場合）

- ア)有り（あてはある・あては無い） イ)無し

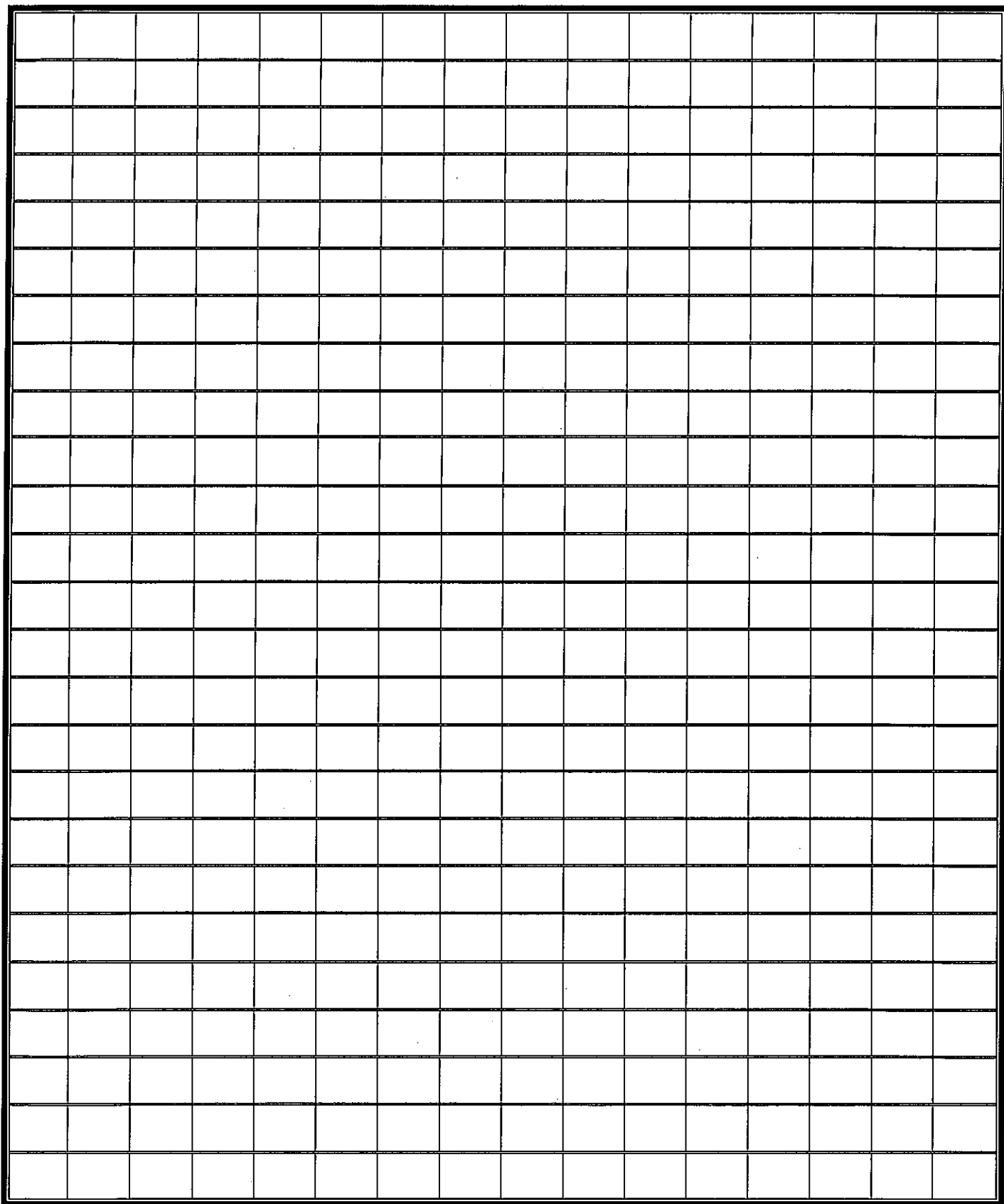
【本科、専科へ入塾希望の方へ】

6 就農準備資金の給付申請（予定）

- ア)有り イ)無し

(作 文)

「私 が 目 指 す 農 業 経 営」	氏 名																	



(800文字程度)

③別紙1 就農計画（※ 専科入塾希望者のみ記入）

1 就農時に係る計画

就農予定地		就農予定 時期	年 月
就農形態	<input type="checkbox"/> 新たに農業経営を開始 <input type="checkbox"/> 親の経営を継承して開始 <input type="checkbox"/> 法人就農 <input type="checkbox"/> その他（	）	<input type="checkbox"/> 全て引き継ぐ <input type="checkbox"/> 部門を引き継ぐ

2 将来の目指す経営像について

(1) 将来の生産予定品目について

- ・具体的な品目

- ・その理由

- ・栽培方法や時期

- ・各品目の位置づけ

(2) 現在の自己評価について

- ・技術力について（農作業体験、就農経験）
- ・農地について（どこに、誰の、広さは）
- ・労働力について、家族の協力など周りのサポート（家族の理解・賛成）
- ・機械、施設について（自己所有・購入予定機械）
- ・資金の確保状況（自己資金・借入予定）

(3) 販売方法（市場出荷・直接販売等 どのような人にむけて）

3 (1) 就農後5年目の営農計画

作物・部門名		作付面積(a)・飼養頭数等	
合 計			
家族労働力	氏 名	年齢・続柄等	農業従事日数
雇用労働力		(人・日)	

(2) 就農後5年目の所得目標

農 業 収 入	〇〇 (作目)	経営規模 (a)	
		生産量(kg)	
		売上高(千円)	
		経営規模 (a)	
		生産量(kg)	
		売上高(千円)	
		経営規模 (a)	
		生産量(kg)	
		売上高(千円)	
	その他		
①合 計			

		金額 (千円)
農 業 経 営 費	原材料費	
	減価償却費	
	出荷販売経費	
	雇用労賃	
支出計 ②		

農業所得計 ③ = ① - ②	千円
--------------------	----

③別紙2 作付計画（年目）（専科生希望者のみ）

ほ場 (例)	品目	面積	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
露地1	ブロック リー	(20a)	--- 防除	--- ■■ 収穫									○ 播種	◎ 定植準備・定植

凡例 播種:○ 定植:◎ 収穫期:■

③別紙3 売上計画および実績（年目）

			計 画 a	実 績 b	実績／計画 b / a
農 業 収 入	〇〇（作目）	経営規模			
		生産量			
		売上高			
		経営規模			
		生産量			
		売上高			
		経営規模			
		生産量			
		売上高			
	その他				
	収入計①				

			計 画 a	実 績 b	実績／計画 b / a
農 業 経 営 費	原材料費				
	減価償却費				
	出荷販売経費				
	雇用労賃				
支出計②					
【参考】設備投資（内容、金額）					
農業所得計③ = ① - ②					